

「栗東市の人口65,000人突破について」

平成23年5月17日

議会説明会資料

滋賀県の南部に位置し、市の北部は平坦地、南部は緑豊かな山地となっている。

昭和29年に4つの村が合併し、栗東町として発足した。

国道1号・8号の通過、名神高速道路栗東インターチェンジの設置など、交通の要衝として利便性を活かし、日本中央競馬会栗東トレーニングセンターや工場誘致を行い、製造業・商業・流通業など数多くの企業が立地している。

平成3年、JR琵琶湖線栗東駅が開設されたことにより、京阪神への通勤圏となり、大規模な住宅整備が進み、人口増加が続いている。

平成13年10月1日（人口：57,016人）、滋賀県内8番目の市として「栗東市」が誕生した。

「ひと・まち・環境 ともに育む『健やか・にぎわい都市』栗東」の実現に向け、まちづくりを進めている。

平成8年12月4日	50,000人	達成	
平成11年11月30日	55,000人	達成	(5,000人増に、約3年)
平成16年11月18日	60,000人	達成	(5,000人増に、約5年)
平成23年5月16日	65,000人	達成	(5,000人増に、約6年6ヶ月)

平成21年1月末に、64,837人となったが、その後の一時期は、減少や微増を繰り返していた。昨年は増加傾向に転じた。

平成23年4月末には、過去最高人口であった64,837人を超えて、64,903人となり、その後も増加を続け、本年5月に65,000人を突破した。

滋賀県統計課による、平成22年10月1日実施の国勢調査速報値によると、

平成17年国勢調査から平成22年までを比較した速報値では、滋賀県の人口増加率は全国で5位であり、近畿2府4県では、人口増加したのは、滋賀県と大阪府である。

滋賀県内の人口増加率は、1位が草津市（8.00%）、2位が守山市（7.79%）、で、3位が栗東市である。（6.32%）

「栗東市第五次総合計画」における平成31年度の目標人口は、70,000人を想定している。